

[横浜にぎわい座]
令和2年度業務計画及び収支予算
 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業。○：共催事業
 を示します。
 ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標。■：定性的指標
 を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町 3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階 及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4,358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【目指す姿、果たすべき役割】

第三期5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつなげます。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

(2) 令和2年度の業務の方針及び達成目標

① 文化事業について

経常公演全体を安定的に実施し、社会の大衆芸能への関心の高まりを、観客創造・誘客・販売促進につなげ、日本の伝統文化や古典芸能への入り口としての役割を果たします。主に大衆芸能に親しみ、関心を深める場である「横浜にぎわい寄席」、落語の奥深さを作品から知る「名作落語の夕べ」、高度な実力を持つさまざまな演者の魅力を通して演芸に親しむ各種独演会など公演毎の機能を明確に示して、集客、観客層の広がり、収支の安定性に努めます。

「笑いは健康の源」と言われております。市民協働のもとアウトリーチを行い、市民の健康増進につなげます。

オリパラ開催時期にあわせて、小中学生から社会人、外国人まで幅広い層を対象とした水戸大神楽曲芸の体験教室を行い、日本の文化、古典芸能への理解を深めていただきます。外国人に対しては市民サポーターによる多言語対応の広報、体験教室での通訳を行います。

② 施設運営について

令和1年度にスタートさせた、毎月前半の芸能ホールを大衆芸能公演に提供する取り組みと、演劇・ダンス等の公演を対象とする、小ホール利用促進策を二つの重点的な取り組みと位置付けます。これにより民間事業者や演芸家・芸術家の公演をより多く誘致し、大衆芸能をはじめとする文化芸術振興や街の活性化に寄与するとともに、利用料金増収や利用率向上もあわせて推進します。

③ 施設管理について

利用者・来館者が、安心・快適に施設を利用できるよう万全を期します。特に安全管理については最優先事項と捉え、その考え方に基づく利用者・来館者への適切な対応のあり方を研修やOJTを通じてスタッフに徹底します。件数が増加傾向にある施設修繕も、安全管理を基準として優先順位をつけながら効率的・効果的に実施します。

④ 収支について

主催事業の収益によって施設全体の収支バランスをとっている横浜にぎわい座ならではの収支構造を維持するためには、魅力的な経常公演を適切なサービスとともに提供する努力を継続することが極めて重要です。来街者サービスや福祉・教育への貢献など市のさまざまな政策実現に寄与する取り組みを実行するためにも、その礎となる経常公演ならびに貸館事業の主たる業務にしっかりと取り組み、経費節減策も合わせながら健全な施設経営を行います。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月1日から15日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にアピールして、観客数の増加に繋がります。 「名作落語の夕べ」は月ごとのテーマ設定及びリピート鑑賞に向けたサービスを継続し、観客の興味を一層促していきます。 所属団体・流派の垣根を越えた実力者、人気者によるバラエティ豊かな出演者による公演を行うことで、市民の大衆芸能に対するニーズに応えます。 若手出演者の育成を継続的に実施し、「将来の名人を育てる道場」とします。 学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。 	
<p>[取組内容]</p> <p>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</p> <p>経常公演</p> <p>① 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催</p> <p>② 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容</p> <p>●「横浜にぎわい寄席」(毎月7回) 落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。各種割引や子ども料金をPRし、新しい観客を招へい</p> <p>●「名作落語の夕べ」(毎月1回第一土曜日) 古典落語を4人の演者がネタ出しで口演する、落語の名作をじっくり楽しめる公演</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>経常公演</p> <p><input type="checkbox"/>年間200公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者 月平均3,500人以上。</p> <p>■みなとみらい地区の企業など団体誘致とファミリー層に向けてのPR活動の実施。</p> <p><input type="checkbox"/>チケット販売数 平均120枚以上。</p> <p><input type="checkbox"/>「こども寄席」を年間2公演開催。</p> <p>■三遊亭圓朝作品特集、江戸庶民の生活を探る公演、埋もれた名作の上演など、名作の会ならではの企画性のある公演を毎回実施。</p> <p>■同じ席で鑑賞できるシリーズ券を先行販売し、「名作落語の夕べ」ファンの定着を図る。</p> <p>■人気と実力を兼ね備えた演者による公演を積極的に実施。</p> <p><input type="checkbox"/>チケット販売数 平均150枚以上。</p> <p>■気軽にグループで来場できる昼公演、じっくり</p>

<p>落語・漫才・コントから音楽ショー、民謡等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催</p> <p>◇創造的で発信性のある取組みの実施</p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月8回程度)…再掲 ネタおろし、名作の継承や新作発表など演芸界を活性化させる公演の実施開催。関東で上方落語を定期的に楽しめる場として認知されている、にぎわい座ならではの上方落語の公演を積極的に行う。</p> <p>●のげシャレー公演 小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コント、音楽ショーなどの公演や異色のコラボレーションなど</p> <p>●近隣文化施設や団体との連携による新しい舞台作品の創造</p> <p>◇若手実演家育成の仕組み作りと実践</p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」 小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演</p> <p>○登竜門シリーズ卒業生等の活動をサポートする「にぎわい座共催公演」を引き続き、実施</p> <p>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「趣味をテーマの演芸会」 鉄道、野球といった趣味をテーマにした演芸会を行い、観客層を広げる。</p>	<p>堪能する夜公演の独演会など、「にぎわい座ならではの」「にぎわい座らしい」公演を連日開催。</p> <p><input type="checkbox"/> 実力ある若手を登用する公演を年 20 回以上開催。</p> <p>■日本の伝統的な大衆芸能を紹介する企画公演を開催。</p> <p>■将来性のある新真打の披露公演。</p> <p>■タップダンスや音楽芸を中心とした新しい形態の演芸会の開催。</p> <p><input type="checkbox"/> 上方落語公演を年間 10 公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/> 年間 10 公演以上開催。</p> <p>■みなとみらいホール、赤レンガ倉庫などと「芸術創造特別支援事業」に参加。</p> <p><input type="checkbox"/> 年間 20 公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/> 入場者数平均 100 名以上。</p> <p>■芸能ホール進出実現のためのサポートを行っていく。</p> <p><input type="checkbox"/> 年間 2 公演以上受け入れ。</p> <p><input type="checkbox"/> 全公演でのアンケートの実施。</p> <p><input type="checkbox"/> 参加者 80 名以上、</p>
--	--

<p>●貸切公演 団体からの要請により貸切公演を開催。新規顧客を開拓し、リピート鑑賞につなげる</p> <p>●にぎわい会員 チケット購入用の会員制度</p> <p>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 寄席文字や大神楽曲芸など寄席に因んだワークショップ</p> <p>●トリエンナーレ参加、紙切り芸公演</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」 野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。「笑いは健康の源」を重点テーマに、NPO 等と協働で実施</p> <p>◇子どもの創造性育成の取組み</p> <p>○寄席体験プログラム（6回） 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業</p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム</p>	<p>□貸切公演4回以上開催、 □主催者の満足度4以上（5段階評価）。</p> <p>□にぎわい会員登録数 19,000 人達成。</p> <p>□「橘流寄席文字講座」「大神楽曲芸体験教室」などの開催。受講者計 70 名以上。 ■要請に応じて企業や教育機関と連携した講座を実施。</p> <p>□入場者 80 名以上</p> <p>□講座の共催開催 2 回以上、 □会場提供 3 回以上、 □職員の講師派遣 2 回以上。</p> <p>□一般向け（子ども向け）2 回以上、 □団体向けオンデマンド開催 4 回以上。</p> <p>□若手芸人の起用 3 回以上、 ■市民サポーター協働のモデル事業としての実施。 ■「みどりアートパーク寄席」など個性的なロケーションでの演芸会の実施。</p> <p>□6 月、10 月の 2 期に分けて開催。 ■本事業を通じた学校との情報交換、「こども寄席」などの PR 活動など連携実施。</p> <p>■要請に応じてコーディネート実施。</p>
--	---

<p>「学校プログラム」 市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業</p>	<p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした研修会など。</p>
---	--

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。 ・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。 ・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。 	
<p>[取組内容]</p> <p>情報収集および提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポスターを配架 ●公演情報の活用 企画公演等、過去の公演情報の活用 ●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応 <p>広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及び SNS 等により、公演情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> ■常に新鮮な情報が得られる配架方法を進める。 ■町内会、野毛ちかみち掲示板を活用し通行人に向けて、にぎわい座の楽しみ方を紹介。 ■電子大福帳にすべての公演情報を入力することを引き続き行う。 ■出演者経歴、演目解説など大衆芸能公演のアーカイブ化と継承を継続して行う。 □催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート 30 件以上。 □にぎわい会員を対象にメールマガジンを年間 24 回以上配信。 □Twitter を年間 400 回以上配信。 ■Twitter は公演情報や業務案内だけでなく、近隣施設のイベント情報や大衆芸能に関するミニ知識、終演後に公演の様子を伝えるなど多彩な内容で配信。 ■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。特に落語未経験者を意識した掲載内容を考慮する。 ■財団の広報・ACY グループと連携したプレスリ

<p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介する</p> <p>展示事業・館内演出</p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展を開催</p> <p>●館内装飾 エントランス他に季節の装飾を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティを向上</p>	<p>リースの実施。</p> <p>■新聞記者など識者に公演を見てもらい、その感想を広報に活用。</p> <p>□メディア懇談会 1回以上開催。</p> <p>□企画展として「中島修展」のほか、手拭い展、写真展や寄席文字展など4回以上開催。</p> <p>■伊勢佐木町のかつての劇場街紹介や当館の過去の公演紹介、出演者紹介などの常設展も解説や展示方法を改訂し、展示の質を向上。</p> <p>□季節の館内装飾は年間10回以上展示替え。</p>
---	---

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果] 地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>○野毛地区の飲食、物販業と連携したプロモーション活動</p> <p>○公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施</p> <p>○野毛地区主催のイベントへの協力</p> <p>●MM21 地区からの誘客</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合の「野毛手形」（飲み歩きクーポン）に参加。</p> <p>■野毛地区飲食業協同組合と連携し、芸能ホール公演時に「のげ茶屋」営業。</p> <p>■野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施。</p> <p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>□MM21 地区の就業者の交流団体向けにイベントを実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施2回以上。</p>

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果]</p> <p>地域に根差した施設として、意欲ある市民の方に支えていただくとともに、多様な分野の市民団体やNPOとの協働により、魅力やホスピタリティにあふれ、また多方面からのアクセシビリティを実現する施設運営を行います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営 ●市民サポーター、市民団体、NPOとの協働 ●職業体験、アートマネジメント実習 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> □にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施。 ■チケット販売促進プロジェクトの推進。 ■アウトリーチにおける協働、オリパラ関連事業における広報の外国語対応。事業における逐次通訳。 ■学校や学生からの要望により積極的に受け入れ。にぎわい座ならではの体験の場を提供。

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルやユニークネスを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>都市政策・施設連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●横浜芸術アクション事業「トリエンナーレ」への協力 ●2020年オリンピック・パラリンピック東京大会関連企画 ○「横浜ジャズプロムナード2020」運営協力 ○「横浜ダンスコレクション2021」のげシャレー公演共催 ●修学旅行や横浜遠足での鑑賞機会提供 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■実行委員会からの要請に合わせて、連携企画、広報協力などを実施。 ■伝統芸能に目を向けてもらう機会が増えるので、外国人を含む幅広い層に大神楽曲芸を知ってもらう講座を実施…再掲。 ■みなとみらいホール、赤レンガ倉庫などと「芸術創造特別支援事業」に参加。 ■会場運営チーフに職員を派遣。 ■会場提供、運営支援、広報協力を実施。 □修学旅行、横浜遠足等の鑑賞会3件以上。

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p> <p>④ 要望・苦情への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">開館日数</td> <td>342 日 (月 2 回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">開館時間</td> <td>10 時～22 時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について（平日、入場料無料時）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table> <p>■芸能ホール・小ホール リハーサル利用時 50%割引(継続)。</p> <p>■受益者負担の見直しを行う ゴミ処理費用の新設</p> <p>■職員 1 人を貸館メイン担当とし、舞台技術スタッフとともに公演打合せや利用相談をきめ細やかに対応する。</p> <p>■舞台技術スタッフは芸能ホール 3 人、小ホール 1 人配置を基本とするが、利用状況に応じて小ホールも 2 人に増員して安全管理を行う。</p> <p>■舞台技術スタッフの統括責任者は経験 10 年以上、他のスタッフについても経験 5 年以上の者とする。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情は、すべて支配人・館長まで報告する。</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>	開館日数	342 日 (月 2 回 施設点検で休館)	開館時間	10 時～22 時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	342 日 (月 2 回 施設点検で休館)																																				
開館時間	10 時～22 時																																				
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																		
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																		
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

<p>[取組内容]</p> <p>① 利用率の向上</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□目標利用率</p> <p>芸能ホール：80% 小ホール：70%</p> <p>*利用可能日に対する稼働率。</p> <p>練習室：80% 制作室：60%</p> <p>*利用可能時間帯に対する稼働率。</p>
-------------------------------	--

<p>② 利用の促進</p>	<p>□大衆芸能普及と振興のため、主催興行期間に、芸能ホールで協力事業を募集。年間 12公演</p> <p>■若手芸人の育成のため、公演開催を支援する「にぎわい座共催公演」の開催…再掲。</p> <p>■小ホールでの演劇・ダンス等の公演誘致 演劇やダンスによる施設活用方法を分かりやすく発信するとともに、仕込みやりハーサルで複数日必要な公演が実現できるよう営業し公演誘致する。(先押さえ共催)</p> <p>□土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNS で案内。1回/月</p> <p>■利用希望者の施設見学、随時受け入れ。</p>
<p>③ 1階エントランスの活用</p>	<p>■地域のインフォメーションに活用 野毛大道芸、のげやまくん 通年実施</p> <p>■大口購入者のチケット受渡し所等、要望に応じて第2の受付に活用。</p> <p>■公演開催時以外にも1階エントランスロビーにスタッフを配置する時間帯を設け、よりお客様が入りやすい演芸場を目指す。</p>
<p>④ 3階売店との連携</p>	<p>■売店と連携し、利用者の要望に応じた公演時の売店営業や弁当等の手配を仲介。通年実施</p> <p>■地元飲食店組合協力による特製弁当の提供</p>
<p>⑤ 第三期の、新たな貸出プラン</p>	<p>□撮影での貸出 年2回以上。</p> <p>■貸出施設以外についても料金を設定し、対応(継続)。 50,000円/3時間 延長 20,000円/時間</p>
<p>⑥ 第三期の新たな利用者サービス</p>	<p>■貸館公演サポート業務を充実させ、広報する 大判ポスター・チケット印刷、表方業務の受託</p>

ウ 組織的な施設運営

<p>[取組内容]</p> <p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="711 1827 1426 2024"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長・チーフプロデューサー</td> <td>1人</td> <td>グループ長</td> </tr> <tr> <td>支配人</td> <td>1人</td> <td>グループ長</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1人</td> <td>管理1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	人数	備考	館長・チーフプロデューサー	1人	グループ長	支配人	1人	グループ長	チームリーダー	1人	管理1
項目	人数	備考											
館長・チーフプロデューサー	1人	グループ長											
支配人	1人	グループ長											
チームリーダー	1人	管理1											

	担当リーダー	1人	事業1
	職員	5人	管理3、事業2
	アルバイト	2人	2人2ポスト
	公演表方チーフ	1人	1人1ポスト
	にぎわいスタッフ	30人	最大予定人数

② 施設の安全管理を実現するシフト配置	<p>■勤務体制は各2人以上のシフト制とし、主催事業や貸館状況等に応じて職員・スタッフの人数を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室 A 勤務（9:30～18:15） B 勤務（13:15～22:00） ・受付窓口 A 勤務（9:45～13:55） B 勤務（13:45～17:55） C 勤務（17:45～22:00）
③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成	<p>■大衆芸能分野のプロデューサーを館長とし、引き続き事業担当職員を専門職員候補として中期的に育成する。</p>
④ その他の人材育成、チームワーク醸成	<p>■社内外の研修参加や資格取得を奨励。</p> <p>■課題を共有し、全スタッフが意見を言える環境づくり。</p> <p>■研修やOJTで、窓口スタッフの接客スキル向上を図る。</p> <p>採用時研修、フォローアップ研修、スタッフ研修</p>

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]
① 個人情報保護・情報公開	<p>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守。</p> <p>■ファックス送信や郵送の際の、ダブルチェックを徹底。</p> <p>■入場券販売やメールマガジン配信に票券管理システムを使用し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止。</p>
② 人権尊重	<p>■人権研修への参加、職場内での研修実施。</p> <p>□にぎわいスタッフ向け接客研修実施（年2回以上）</p>
③ 環境への配慮	<p>■施設の利用状況を細目に確認しながらの空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</p> <p>■ゴミ処理有料化等の新規取組により、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。</p>

④ 市内中小企業優先発注	市内中小業者への発注率 <input type="checkbox"/> 備品・消耗品購入 90%以上 <input type="checkbox"/> 修繕・備品の買い替え 90%以上 <input type="checkbox"/> 印刷物 80%以上
--------------	---

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容] ① 施設及び設備の維持保全及び管理 ② 小破修繕の着実な実行	[達成指標] ■ 建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記した保全管理及び点検の遺漏ない実施。 ■ 委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。 <input type="checkbox"/> 設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。 <input type="checkbox"/> 来館者アンケートの施設快適性評価 4以上(5点満点)。 ■ 優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。
---	---

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容] ① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応 ② 感染症対策等 ③ 緊急時の体制、連絡体制	[達成指標] <input type="checkbox"/> 施設管理者有責による人身事故ゼロ。 ■ スタッフ及び委託業者による巡回を実施し、建物や設備の不具合、危険を早期に発見し、適切に対応。 ■ 主催事業や施設の利用状況に合わせ、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開演錠及び管理を実施。 ■ ケアの必要なお客様来場時には、スタッフが連携をとって見守り、適切な距離感で補助を行う。 ■ スタッフ及び委託業者による巡回で、異常を早期に発見。 ■ 汚物処理は感染症を念頭におき、消毒液を常備して効果的に実施。 ■ シフト勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応。 ■ 主催事業や観客の多い貸館公演の日は、スタッフを増やして対応。原則としてリーダー以上が出勤。
---	---

ウ 防災に関する取組

[取組内容] ① 危機管理マニュアルの整備	[達成指標] ■ 現行マニュアルの検証と法令等に合わせた必要な改訂。 ■ 天候異常や交通機関の停止にあたっては、休館や開館時間の変更など、施設と利用者、スタッフの安全を確保する対策をとる。
--------------------------	--

② 避難訓練	□全スタッフ参加の避難訓練実施 年2回以上。
③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ	■災害時等には横浜市の要請に応じ、帰宅困難者一時滞在施設・避難受入施設と同様、避難者の受け入れを行う。

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

取組内容]	[達成指標]
① 利用料金収入の確保	<input type="checkbox"/> 利用率および収入目標の達成 芸能ホール：80%/日 小ホール：70%/日 練習室：80%/コマ 制作室：60%/コマ <input type="checkbox"/> 利用料金収入 21,800,000 円。
② チケット受託販売	<input type="checkbox"/> 受託実績 24公演以上。 ■ 催し物案内やHP公演情報の記載やチラシ配架、ポスター掲出で、チケット取扱い公演をPRする。
③ 自主事業収入の増収	<input type="checkbox"/> 入場料収入140,000,000円達成。 <input type="checkbox"/> 団体販売実績 月平均5団体以上。
④ 協賛金の獲得	<input type="checkbox"/> 協賛（現物協賛を含む）1件以上。
⑤ オリジナル商品開発および販売	<input type="checkbox"/> 来場記念になるグッズ、オリジナル商品販売 200,000 円。 ■ 地元の老舗洋菓子店とのコラボ商品；お土産マドレーヌ ■ 画家とのコラボ商品；落語家てぬぐい
⑥ 経費削減	■ 入札、見積もり合わせの徹底。 ■ 計画的なチラシ発送による郵送料の削減。
⑦ コスト意識	■ シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減。 ■ 超過勤務の事前申請の徹底。

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

令和2年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	説明
指定管理料	213,940,000	横浜市より
利用料金収入	21,800,000	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	150,385,000	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
雑入	648,000	
印刷代	8,000	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	84,000	3階売店及び自動販売機売上手数料
その他(協賛金、事業負担金等)	556,000	「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料、立替金戻入ほか
収入合計	386,773,000	※横浜市目的外使用料立替分の戻入=112,000を含む

支出の部

科目	当初予算額 (A)	説明
人件費	102,357,000	
給与・賃金	85,645,000	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	9,470,000	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保険料
通勤手当	4,372,000	
健康診断費	70,000	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	50,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	2,750,000	
事務費	7,003,000	
旅費	120,000	出張費
消耗品費	700,000	施設運営に係る文具、用紙、消耗品購入※修繕パーツ等は管理費-修繕費
会議賄い費	0	
印刷製本費	200,000	封筒等の増刷
通信費	965,000	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	354,000	
横浜市への支払分	162,000	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)
その他	192,000	NHK受信料(2)、CATV契約(負担分)、PCソフトライセンス料
備品購入費	200,000	設備・備品更新 ※修繕実績の一部
図書購入費	50,000	参考図書、新聞
施設賠償責任保険	54,000	
職員等研修費	5,000	資格取得・維持(防火防災管理者、食品衛生責任者、サービス介護士)
振込手数料	90,000	信金振込手数料
リース料	3,116,000	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル、携帯電話抑止装置
委託費	112,000	PCセキュリティライセンス経費、業務委託 ほか
手数料	350,000	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	360,000	施設広告掲載、施設販促物作成
雑支出(渉外費)	227,000	真打昇進披露、式典、供花等
地域協力費	100,000	町内会費 ほか
事業費	131,913,000	
自主事業費	131,913,000	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	108,621,000	
光熱水費	13,728,000	
電気料金	10,200,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	2,500,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,028,000	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	10,850,000	専有部清掃費
修繕費	2,220,000	修繕委託、修繕パーツ等の調達 ※設備・備品更新は事務費-備品購入費
舞台技術費	23,285,000	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	40,556,000	
専有部管理費	40,556,000	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費、清掃費ほか
共益費	17,982,000	ビル共用部管理費、害虫駆除費
公租公課	11,789,000	
事業所税	0	
消費税	11,729,000	
印紙税	55,000	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	5,000	法人市民税、法人県民税、業務用トランシーバー、携帯電話抑止装置電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	25,090,000	
本部分	25,090,000	(前年度事業経費-事務局繰入金)×7%
支出合計	386,773,000	
差引	0	